

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		中小製造業のアトリエ化支援				所管	文化産業観光部 産業振興課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	11	計画事業名	中小製造業のアトリエ化支援		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅰ-1. 産業の活性化					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (1) 中小企業の経営革新支援					[事業開始] 平成 1 1 年度	
		[施 策] ④ 販路・市場開拓支援[4]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	中小製造業のアトリエ化支援事業にかかる助成金交付要綱			
	事業対象	製造・製造小売業の区内中小企業						
	事業目的	区内製造・製造小売業者が、製品(商品)の販売促進を図ること目的として工房等を改修する場合に支援を行い、手作りのよさをPRしていくことで、区内産業の活性化を図る。						
	事業内容	1 作り手による製造工程を公開し、製品(商品)への理解や販売促進を図るための工房等の改修に対し助成金を交付する。 ・対象経費 工事費(工房・店舗等の改装・改修費、看板設置費、店舗デザイン費等) ・助成率 2分の1(限度額100万円) 2 手作り工房マップの作成						
委託の有無	一部委託		委託内容	手作り工房マップ作成委託 審査会車両運行委託				
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	助成件数 件		5	8	7	5	
	成果指標	売上増に繋がった企業の割合 %		75.0	87.5	71.4	80.0	
	決算額 (単位：千円)			4,706	4,649	4,655		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)		4,050	4,165	4,687		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)		664	664	651		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)		4,043	3,985	4,004		
		総経費		8,757	8,814	9,342		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)		0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)		2,316	2,281	1,532		
一般財源(区負担額)		6,441	6,533	7,810				
前年度から改善した事項		専門コーディネーターやビジネスアドバイザーの活動を通じ、ものづくり体験や、工房公開を行っている事業者の発信手段の一つとして周知が進んだ結果、手作り工房マップの掲載事業者数は95店舗までに増えている。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	デザイナーズビレッジの卒業生をはじめ、クリエイターが区内に店舗を構える機運が高まっている。助成金については21年度以降、相談・申請案件が高い傾向が続いている。アトリエ店舗を掲載している「手作り工房マップ」は、来街者には好評のほか、学校、旅行会社からの問い合わせも多い。					
	効率性	3	助成金の交付を受けた事業者がモノマチ等のイベントの代表的な店舗になっているなど、地域の賑わいにも貢献している。「手作り工房マップ」は、前年の需要等をふまえ、必要部数を効果的に配布するようにしている。					
	手段の適切性	3	同様の個別事業者支援は、他にはなく、台東区のものづくりのPR、観光資源の整備の一助にもなっていることから、区が実施していくのは適切である。					
	目的達成度	4	21年度以降の支援件数は、計画以上に件数に達している。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
台東デザイナーズビレッジの卒業生をはじめ、若いクリエイターの区内定着促進に、今後も活用が見込まれる支援策の一つである。相談・申請件数も、以前より高い水準で推移しており、台東区の目指すものづくりのまちのイメージアップや、観光資源となるなどの効果があるため、助成件数を拡大する。						拡大		